

受講者の声



だれでも観察会が開けるんだとわかり安心した。楽しみながら受講できたので、かしまる必要はなかったなと思った。(20才女性)

ものの見方、考え方が変わった！
すぐ実践できるもの、今後知識をつける必要のあるものが整理され、今後活かそう。観察会が楽しくなりそう。(21才女性)

自然相手の活動は一人で頑張っても、成果は微々たるものだが、観察会は広く関心を持ってもらい、仲間を増やすという効果があることに気付いた。(31才女性)

こんなにも多くの自然好きがいることは意外だったし、様々な世代、立場の人が活躍していた。(60代男性)

自然保護や観察会をやっていくうえでの指導員としての立ち位置、考え方、行動の仕方などを理解することができた。(57才男性)

自然を五感で感じて一緒に考え、自然保護につなげられる方法を理解でき、とても良かった。(37才男性)

自然観察指導員講習会を第一歩に、活躍の場をひろげよう

自然観察指導員講習会を受講

- 自然保護や自然観察の基本を身につける。
- 腕章、登録証、ネームプレートを取得する。



自然観察指導員のメリットフル活用

- 研修会
専門の講師から学ぶことができる研修会を受講できます。
- 会報
自然保護の最新情報や観察会のヒントが詰まった情報誌である会報「自然保護」(年6回)が手に入ります。
- メール
メールマガジン「しどういん徒然草」が月2回ほど届きます。
- 保険
野外活動が多い指導員が安心して活動できるように、ご自身のケガや損害賠償責任に対応する、指導員限定「NACS-J自然観察指導員災害保障保険制度」に加入できます。
- 連絡会
指導員をつなげるゆるやかなネットワークとして、全国各地に連絡組織が自主的につくられています。地域ごとに情報交換や活動支援をしています。

全国各地で活躍!

<自然観察指導員の活動例>

- 観察会講師の依頼を受ける。
- 学校での環境教育ESDを外部講師としてサポートする。
- ビジターセンターや博物館で自然案内をする。
- 環境モニタリングの調査員になる。
- フィールドの管理・復元作業を行う。
- 企業のCSR活動を牽引する。
- 観光客に周辺の自然を案内する。
- 保護地域の監視官を引き受ける。
- 生物多様性地域戦略などの地域の行政施策を考える委員会に参画する。
- 子どもに自然の大切さを教育する。
- エコツーリズムのガイドになる。 etc...



日本自然保護協会とは?

日本で財団法人として最初に誕生した自然保護団体。60年以上にわたり日本の生物多様性保全と自然保護問題の解決に取り組んでいます。現場の知識と実行力で、日本の自然を守る。それが日本自然保護協会です。会員・サポーター数、約1万6000人。

講習会の詳細や日程・開催地などはホームページをご覧ください。
内容や講師についても詳しく掲載しています。

- お問合せ・お申込みはWEBページのご利用が便利です。
<http://www.nacsj.or.jp>

検索

自然観察指導員



公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J) 教育普及部
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F Tel: 03(3553)4105 Fax: 03(3553)0139 E-mail:fukyu@nacsj.or.jp

2013年3月発行

気づく 身につく 自然のみかた



NACS-J 自然観察指導員講習会

◎ 何も知識がないと自然保護や観察会なんてできないのでは?

◎ 自然を守る活動がしたいけれど、どうしたらいいの?

◎ 自然が好きな仲間が欲しいな・・・

きっとヒントが見つかります。

日本自然保護協会

自然を豊かなまま
次の世代に渡す

自然を大事にする人が増える
自然を大事にする社会をつくる

自然観察会をする

あなたも自然を守る力になりませんか？

専門知識不問・経験不問 大切なのは伝えたい「気持ち」！

自然観察指導員とは、
地域に根ざした自然観察会を開き、自然を大切にする仲間を増やす
ボランティアリーダーのことです。

日本自然保護協会は1978年から養成講座を始め、
開催数は470回以上、登録者は2万6000人を超えました。
豊かな自然を豊かなまま次の世代に渡すという自然保護。
そのはじまりが自然観察です。

じーっと見る→見えてくる→わかる→うれしい*。このうれしさが
自然を大切に思う人を増やし、自然保護活動につながり、
やがて自然が守られる社会システムへと変える
大きな原動力になります。

あなたも自然を守る力になりませんか？

*「テオリア」青柳昌宏・筑摩書房より抜粋

講習会は、1泊2日です。

講習会プログラムは、だれにでも理解ができるように、講義と野外実習を豊富に取り入れ、実体験を通して自然の姿やしぐみを理解する“見方”を短期間で身につけられるように構成されています。講習を修了すると、自然観察指導員として登録できます。

<主な講習内容>

- 自然の姿やしぐみを理解する“見方”“考え方”
- 自然保護・生物多様性保全の考え方や実情についての体系
- 生き物の名前にこだわらない自然の魅力の伝え方
- 自然観察会の開き方 など学べます

講習会のスケジュール例

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 1日目 | ●野外実習「自然観察の視点：森を通して自然のしくみを見にいこう」 |
| | ●講義「自然の保護：生物多様性の保全と私たちの暮らし」 |
| | ●講義「自然の観察：自然観察会と指導員の役割」 |
| 2日目 | ●野外実習「自然観察の素材：こんなテーマで自然を観察しよう」 |
| | ●野外実習「自然観察会の企画：自然観察会の下見から展開を考えよう」 |
| | ●野外実習「自然観察会の開催：実際に自然観察会をやってみよう」 |

充実の講師陣！

講師陣は、地域で自然保護活動や自然観察会を率先して行っている自然保護・教育のプロフェッショナル14名で構成されています。講習会では毎回2名の講師から、自然や自然保護の豊富な知識・体験を直接学ぶことができます。

講師は、自然保護に50年以上携わりその変遷を見てきた専門家や、公私を問わず自然を通じた教育活動をライフワークにしている学校教諭や校長先生、広い視野で活躍する博物館学芸員、国際的な自然保護のしくみづくりに広く携わる大学教授など経験豊富な方々ばかりです。

